

新チームでもさっそく輝く太西



昨日の火曜日から、一部の部活動で新チーム体制としてスタートした部活動があります。その中で、さっそく輝きを見せてくれたのが、『男子バスケットボール部』です。

昨日、ふと職員玄関からくすの木付近の前庭を見ると、一生懸命掃除をしている男子生徒が数名、目に留まりました。「掃除、ありがとう。君たちは何部？」と尋ねると、「男子バスケットボール部」と答えが返ってきました。「暑い中、大変だね」と言うと、笑顔で「全然大丈夫です」との返事。子ども達の様子を見ていると、嫌々掃除をしているとか、やらされているといった様子が全く見られせん。むしろ、「しっかりきれいにするぞ!」と言った気持ちや楽しそうに掃除をしている様子がうかがえます。顧問の先生が会議で不在の中、自分達だけで、楽しく自主的に掃除に取り組む姿に私は、心が打たれました。

振り返ってみると、以前も行事の前に男子バスケットボール部が準備の手伝いをしてくれました。その時も嬉しそうに手伝ってくれました。「他にすることはありませんか」と言ってくれました。男子バスケットボール部員は、自ら仕事を欲してくれます。喜んで手伝いをしてくれます。『男子バスケットボール部は、本当に太宰府西中学校が好きなのだ』、『顧問の先生とのあつい信頼関係があるから、顧問の先生が不在でも、楽しみながら一生懸命掃除をできるのだ』と思いました。

男子バスケットボール部、とても素敵です。このような部活動があることを誇りに思います。そして、『これが部活動の大事な意義だ』と思いました。スポーツですから勝敗はもちろん大事です。大好きなバスケットボールをしたいと思っていることでしょう。しかし、彼らは体育館でボールを扱うのではなく、広い前庭でほうきを扱っています。先生が見ていなくても掃除をしています。とても心が育っている部員たちでした。男子バスケットボール部の輝く姿を見て、嬉しくなりました。

☆ この話には続きがありました。後で顧問の先生に聞きましたが、女子バスケットボール部が勝ち残っているため、今週は体育館練習を女子バスケットボール部に譲り、男子バスケットボール部は、屋外練習のみとするそうです。これを聞いてまた驚きました。試合がある女子のために、献身的に体育館を譲ってくれる男子バスケットボール部をますます素敵だと思いました。

